

武蔵野市公共施設白書《概要版》

■ 公共施設白書作成の背景と目的

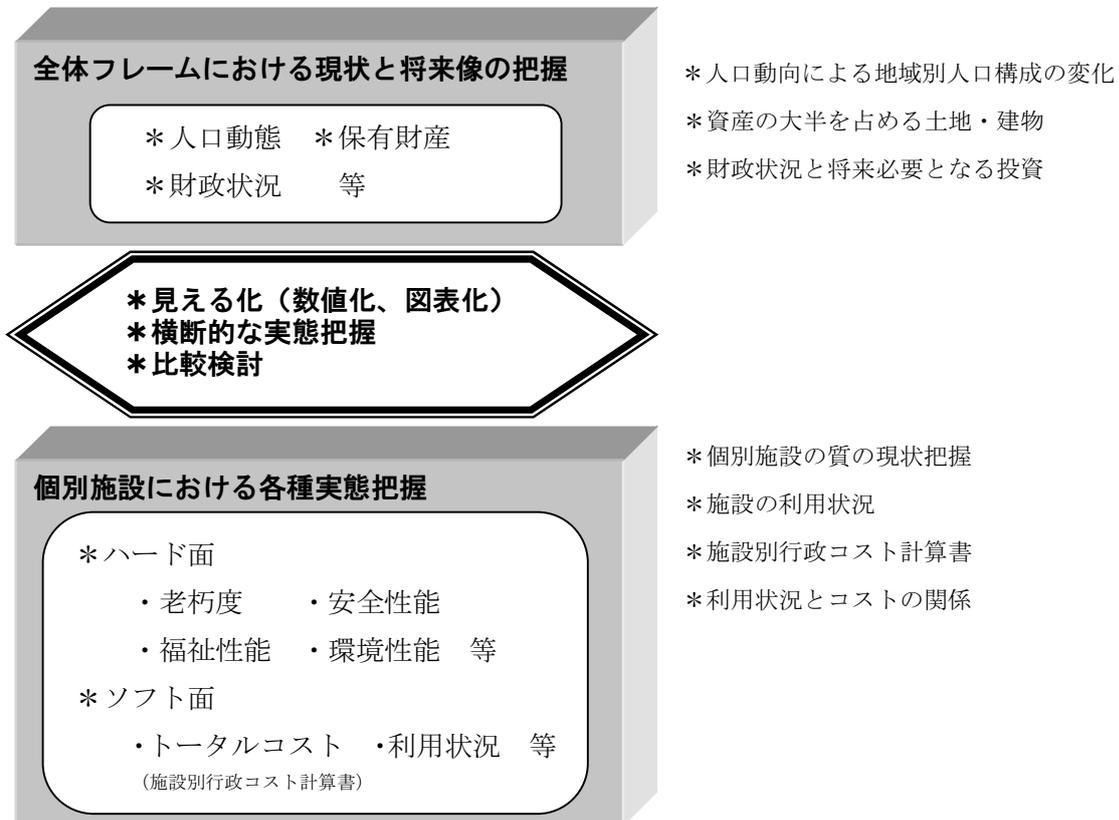
武蔵野市は昭和 22 年に市制を施行し、昭和 46 年に武蔵野市基本構想・長期計画を策定するなど、計画行政のもとで、早期から都市基盤を整備し、公共施設（本書では市所有若しくは管理する建物を指す）を効果的に配置してきました。

第一期の基本構想・長期計画の策定から 40 年が経過し、大きなストックとなった公共施設の横断的管理と、老朽化に対応する計画的整備の必要性から、防災性能を確保する耐震改修や、建物の長寿命化の前提となる劣化保全整備を進めてきました。

このように、公共施設の「質の見直し」から取り組んできましたが、併せて「量の見直し」に取り組む必要があります。税制改制や生産年齢人口の減少など、将来の税収の予測が難しくなる一方で、都市基盤のリニューアルや扶助費の増加など財政負担が大きくなると予想されます。公共施設についても、将来の建替えも含めた既存ストックの維持に、多くの費用が必要になるため、今後は、長期的な視点で「質・量の見直し」を行い、公共施設の適正配置を進めていく必要があります。

そこで、本書は、市全体の財政状況、資産状況を確認した上で、公共施設の改修、建替えについて、将来コストシミュレーションを行うとともに、市民への直接的なサービスとそれを提供する施設を対象に、用途ごと、施設ごとの利用状況、コスト状況、ハード状況を「見える化」し、公共施設の実態を横断的に把握することで、「質・量の見直し」の議論に資することを目的としています。

■ 公共施設白書の考え方



■ 公共施設白書の構成

○はじめに

作成の背景や目的

○第1章 『武蔵野市の概要』

市の概況・市の人口状況・コミュニティ地区の人口状況

○第2章 『市の財政状況と保有する資産の状況』

財政状況・保有する資産の状況・今後の施設整備にかかるコスト試算

○第3章 『用途別実態把握』

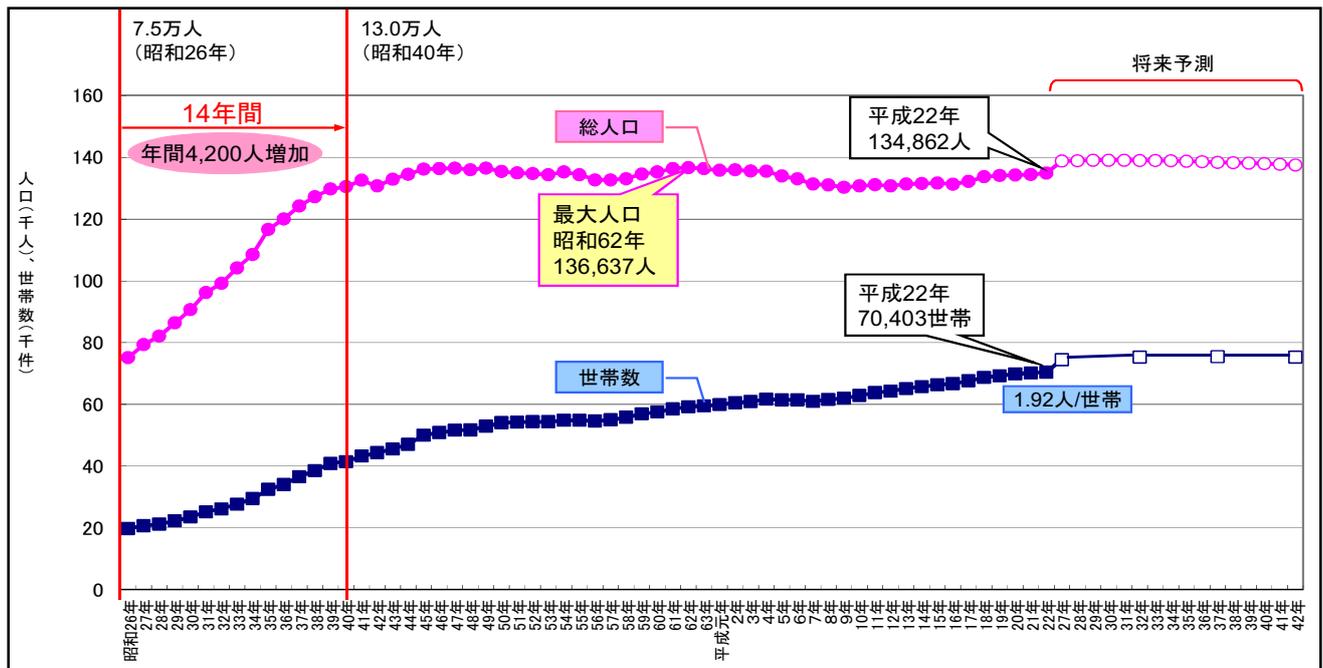
コスト情報とストック情報の把握・公共施設の配置状況・主な施設の実態把握

■ 章別概要

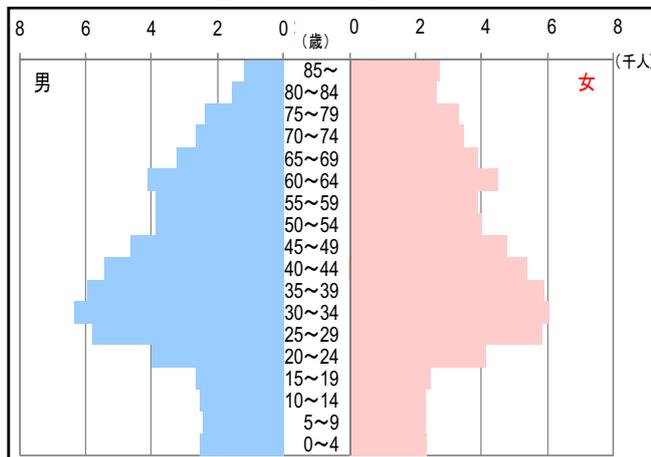
○第1章

市の人口状況

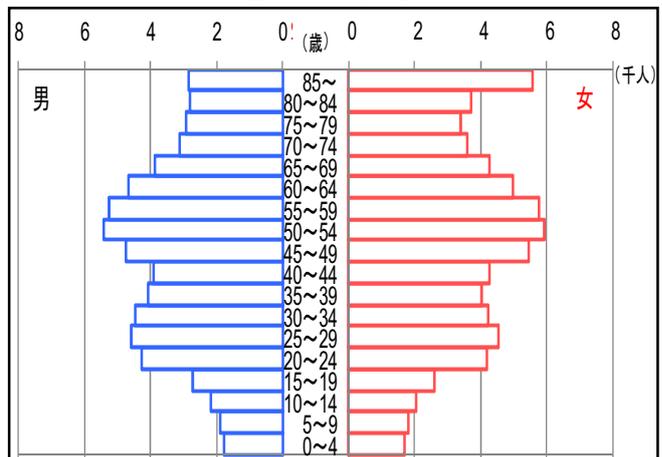
下表は、市全体の人口推移（昭和26年～平成42年）と平成22年及び42年の男女別・年代別人口構成です。



【平成22年度】



【平成42年度】



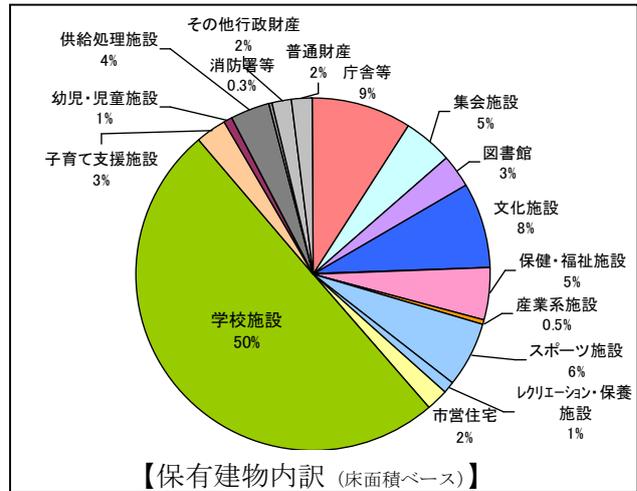
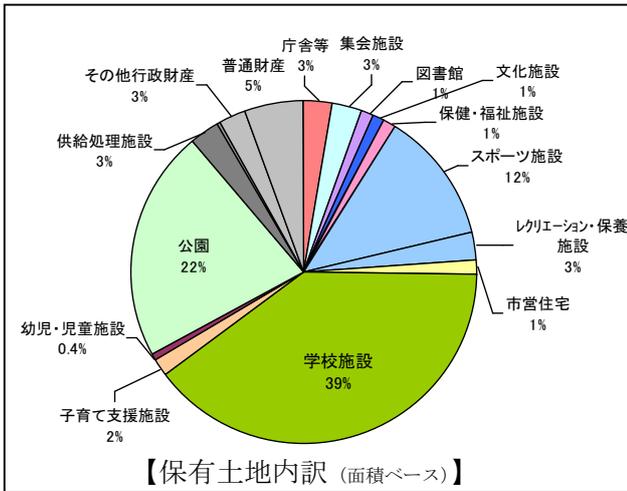
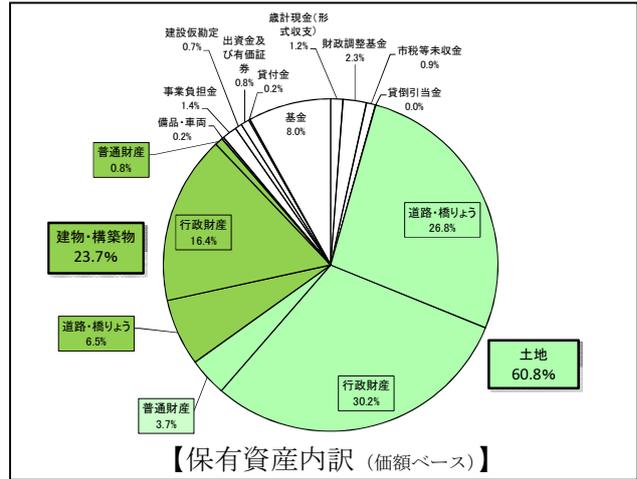
○第2章

保有資産状況

本市の保有資産のうち、土地と建物・構築物で約85%を占めていることが分かります。

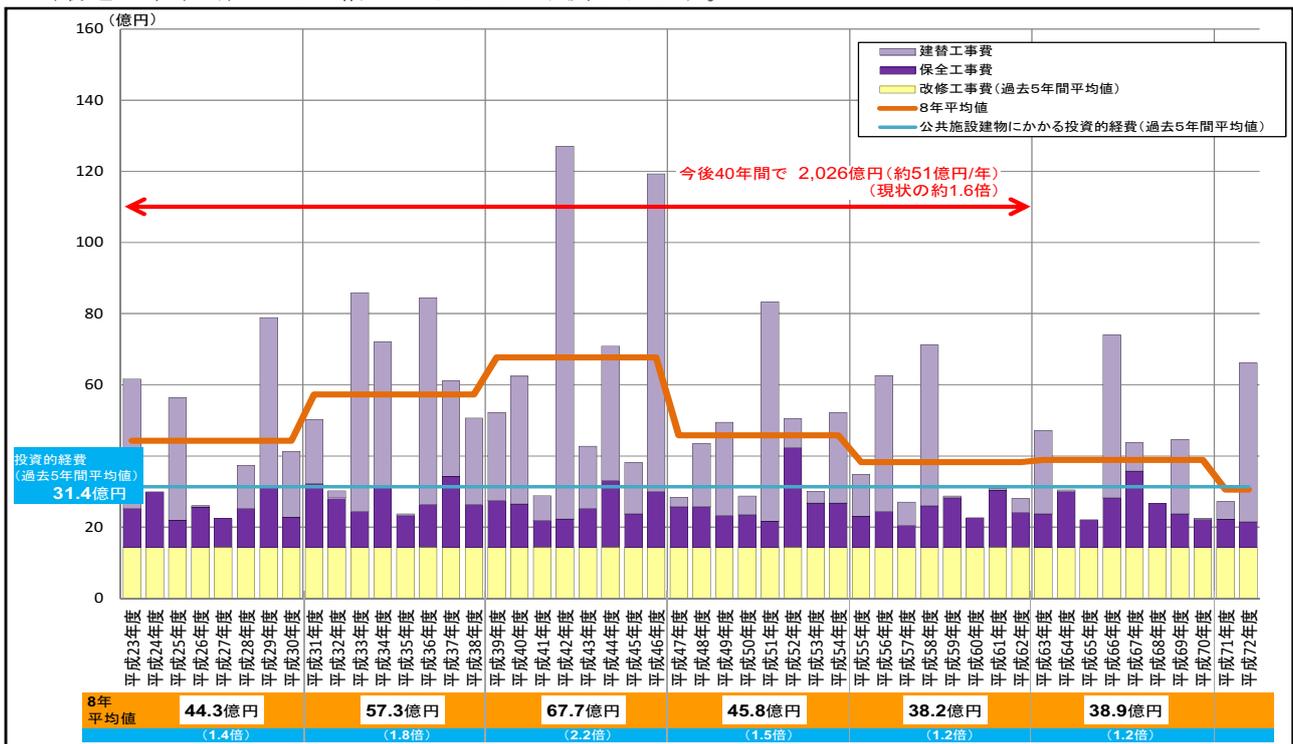
保有する土地のうち、学校用地と公園用地で約60%を占めていることが分かります

保有する建物のうち、学校が約50%を占めていることが分かります。



施設整備コスト試算

一定の前提条件の下、既存施設を維持・保有していくには、施設整備にかけているコスト(最近5年平均)の1.6倍かかることが予測されます。



○第3章

三層構造の施設配置

本市の公共施設は、その用途により、原則として【コミュニティ地区施設】【三圏域施設】【全市施設】に分類して計画的に配置してきました。各施設の配置状況を示しています。

対象とする施設

3章では、直接的な市民サービス及びこれを提供する施設を対象として、「利用状況」「運営状況」「コスト状況」の視点から、実態把握を行います。

- ①市庁舎等施設（市政センター、市役所市民課）
- ②文化・集会施設（図書館、文化・集会施設）
- ③コミュニティセンター
- ④学校教育施設（小学校・中学校、あそべえ、こどもクラブ）
- ⑤子育て支援施設（保育園・幼稚園、児童館、0123施設）
- ⑥スポーツ施設
- ⑦健康・福祉施設（福祉施設、保健センター）

実態把握の内容

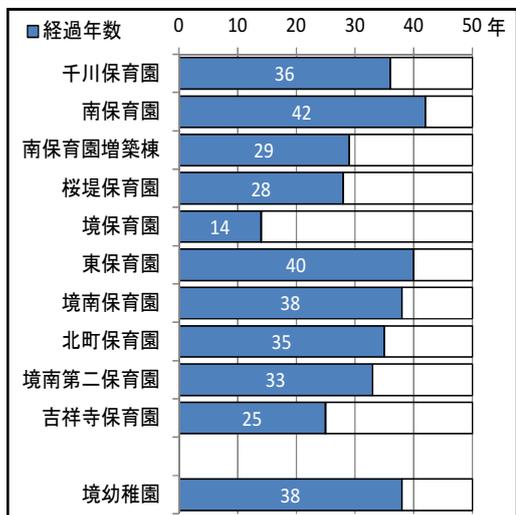
◆建物状況…「老朽化状況」は、『減価償却資産の耐用年数等に関する省令』（財務省）を参考に、鉄筋コンクリート造等は50年、木造等は22年を基準耐用年数に設定し、経過年数との関係を示しました。

「耐震化状況」は、補強も含め、耐震基準に適合しているかどうかを示しました。

「バリアフリー状況」は、バリアフリー法及び条例の適合状況を指数化して示しました。用途・規模・階数などにより、求められる性能が異なるため、数値が同じでも整備状況は異なることにご注意ください。

「環境負荷状況」は、エネルギー使用量とその原油換算及びCO₂換算して示しました。その数値だけ見ても状況は把握できませんが、「単位面積当たり」の数値を同種施設間で比較することにより状況がわかってきます。

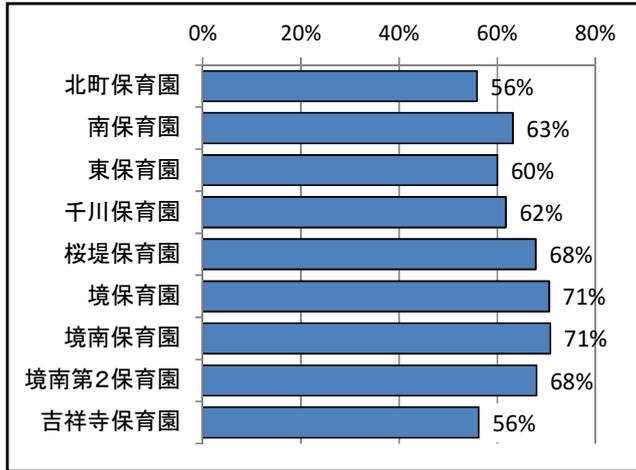
(例) 保育園のハード状況



【老朽化状況】

千川保育園	耐震基準に適合
南保育園	耐震基準に適合
南保育園増築棟	耐震基準に適合
桜堤保育園	耐震基準に適合
境保育園	耐震基準に適合
東保育園	耐震基準に適合
境南保育園	耐震基準に適合
北町保育園	耐震基準に適合
境南第二保育園	耐震基準に適合
吉祥寺保育園	耐震基準に適合
境幼稚園	耐震基準に適合

【耐震化状況】



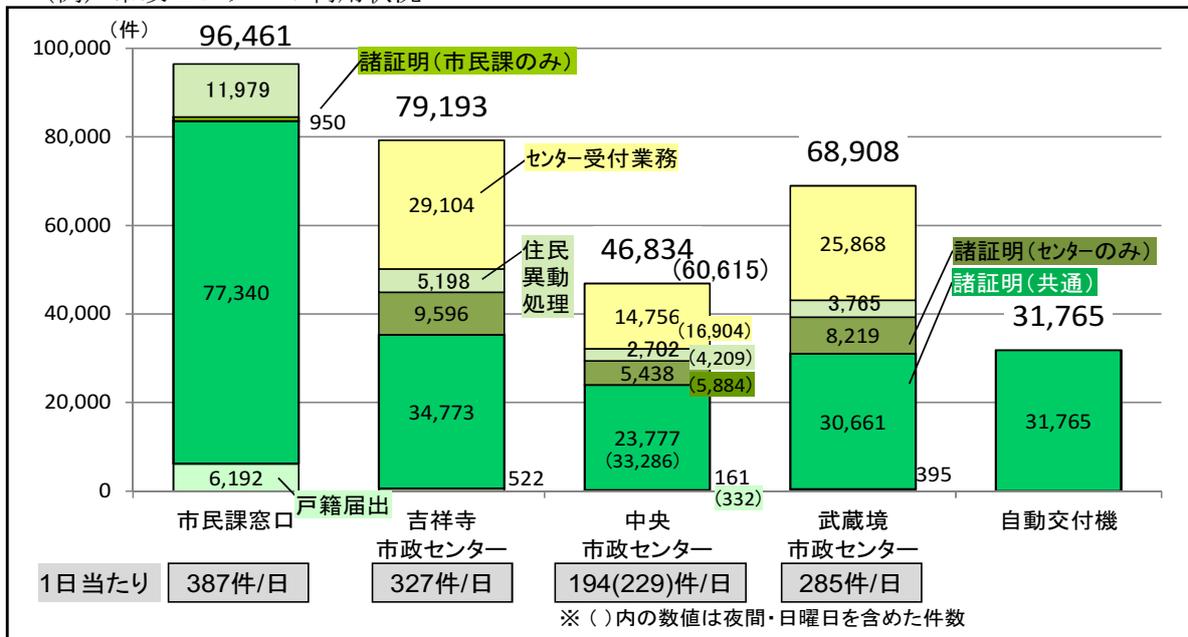
【バリアフリー状況】

	熱量合計 (MJ)	原油換算合計 (KJ)	CO2排出量換算合計 (t)
千川保育園	合計 843,901.9	21.000	38.000
	単位床面積当たり 1,016.6	0.025	0.046
南保育園	合計 944,718.5	24.000	42.000
	単位床面積当たり 1,137.5	0.029	0.051
桜堤保育園	合計 991,147.9	25.000	44.000
	単位床面積当たり 1,134.9	0.029	0.050
境保育園	合計 1,072,435.6	27.000	49.000
	単位床面積当たり 1,026.6	0.026	0.047
東保育園	合計 704,246.3	18.000	31.000
	単位床面積当たり 1,228.6	0.031	0.054
境南保育園	合計 922,091.7	23.000	43.000
	単位床面積当たり 1,144.2	0.029	0.053
北町保育園	合計 852,306.2	21.000	38.000
	単位床面積当たり 1,025.8	0.025	0.046
境南第2保育園	合計 798,767.1	20.000	35.000
	単位床面積当たり 1,040.1	0.026	0.046
吉祥寺保育園	合計 850,521.9	21.000	37.000
	単位床面積当たり 1,029.1	0.025	0.045
境幼稚園	合計 297,221.1	7.000	12.000
	単位床面積当たり 259.6	0.006	0.010
単位床面積当たり平均値 (A)			
	1,004.3	0.025	0.045

【環境負荷状況】

◆利用状況…サービスの内容により、利用件数・利用人数などの尺度で実態を把握しました。

(例) 市政センターの利用状況



※自動交付機の取扱対象証明は、印鑑証明、戸籍謄抄本、住民票、戸籍附票

◆運営状況…運営日・運営時間・人員配置などの尺度で実態を把握しました。

(例) 図書館の運営状況

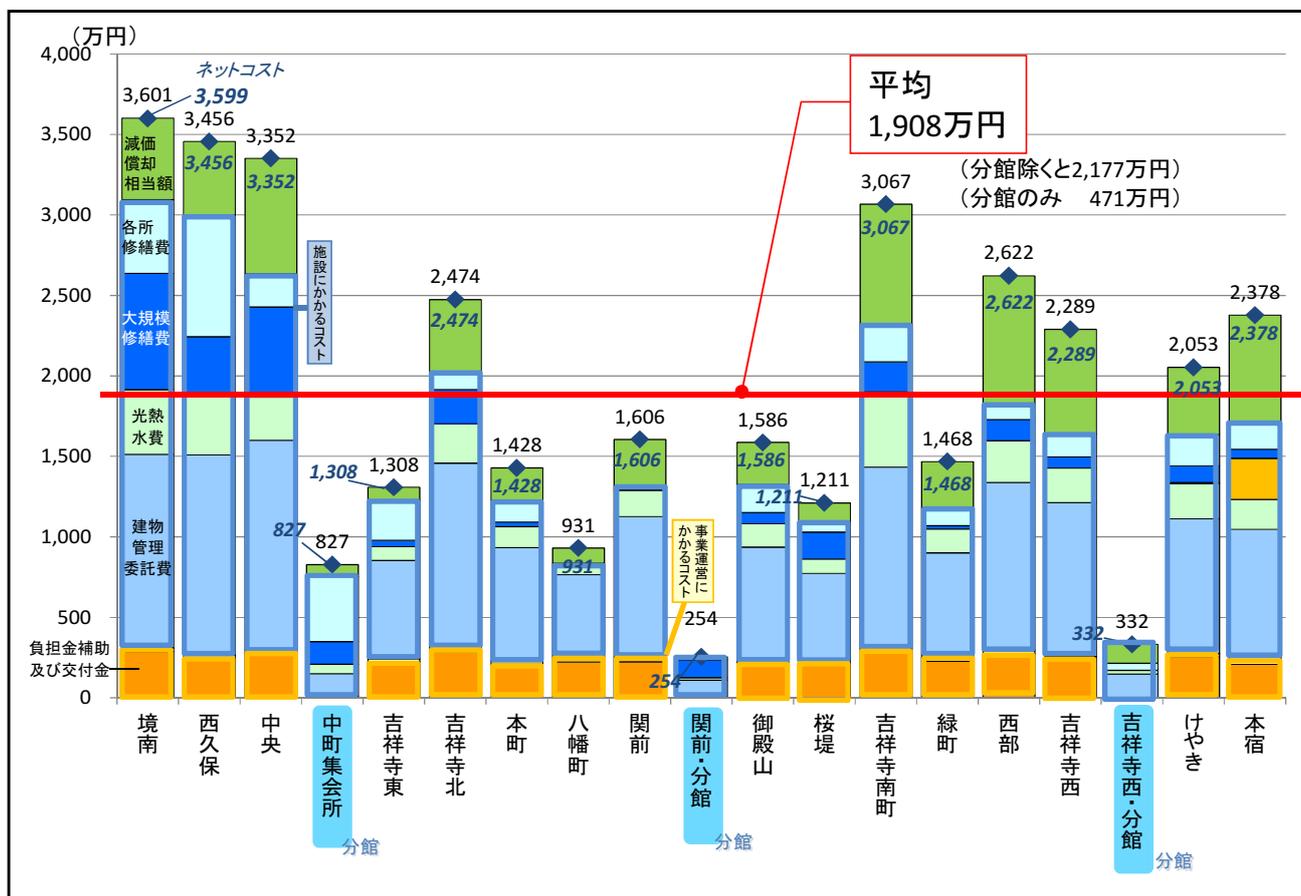
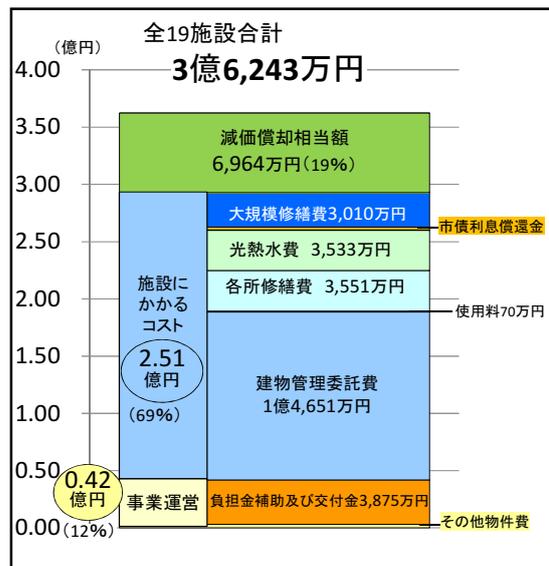
業務内容	職階	中央図書館	西部図書館	吉祥寺図書館	合計
図書館管理係 (館長含む)	市職員	※ 4	—	—	4
その他	市職員	17	6	7	30
	嘱託職員	22	2	6	30
	パート・アルバイト	3	4	8	15
	小計	42	12	21	75
合計	市職員	21	6	7	34
	嘱託職員	22	2	6	30
	パート・アルバイト	3	4	8	15
	合計	46	12	21	79

※3館に渡る業務を担当

◆コスト状況…下図に示す内容のハード、ソフトを含めたトータルコストを把握しました。

(例) コミセンのコスト状況

トータルコスト	施設にかかるコスト	<ul style="list-style-type: none"> 各所修繕費 大規模修繕費 光熱水費 建物管理委託費 土地・建物賃借料 使用料 減価償却相当額 等
	事業運営にかかるコスト	<ul style="list-style-type: none"> 人件費 事業費 事業委託費 その他物件費 (消耗品) (通信運搬)



◆利用状況・運営状況とコスト状況の関係

サービスや施設の内容に応じ、「利用1件当たりのコスト」「利用者一人当たりのコスト」「単位面積当たりのコスト」などを把握することにより、施設間の比較を行っています。